



佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(3)

【概要】

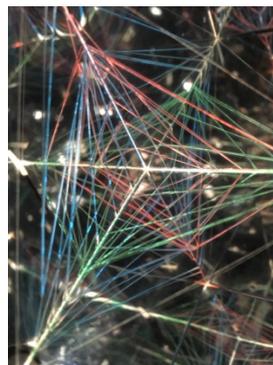
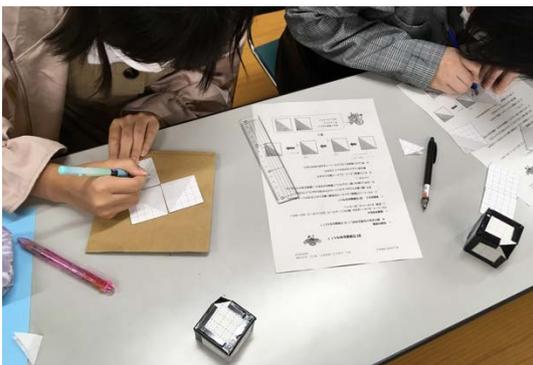
令和2年9月18日(金)に、不登校支援機関の適応指導教室「くすの実」にて理工学部の教員と工学系研究科及び先進健康科学研究科の大学院生、理工学部機能物質化学科の学生らが本年度3回目の理科実験教室を実施しました。

【本文】

理科実験教室支援活動は、佐賀市教育委員会の不登校支援機関である適応指導教室「くすの実」の要請により、理科への興味をきっかけに子供達の就学意欲の芽生えを目的に行なっています。

令和2年度の第3回理科実験教室は令和2年9月18日(金)に、工学系研究科システム創成科学専攻と先進健康科学研究科先進健康科学専攻の大学院生と、理工学部機能物質化学科の学部生が、理工学部化学部門 長田 聡史 教授とともに、「3D万華鏡を作ろう」と題して行いました。

ミラーシートを使って、合わせ鏡の角度を変えると鏡に映る像の数が増えることを説明し、ミラーシートを立体的に組み合わせて立体的な光の像が見える3D万華鏡の作成に取り組みました。見本以外のオリジナルのデザインで作ってもいいですよと提案すると、生徒たちは自分で考えたデザインでの細かい作業に苦労しつつも完成させ、できた3D万華鏡を満足そうに覗いていました。



「理科実験教室」の様子と生徒の作品